

「海」を修士の「副専攻」にしませんか？

「統合的海洋管理学」副専攻プログラム ～「海洋」に関する学際的文理融合型教育～

いま、世界の海で何が起きているのか？！

環境、資源、領土、工学、国際法など、様々な角度から海の現状と
これからの課題を学びます。

これからの日本では、海に関わる問題を避けることはできません。

海に関わるテーマを研究している学生でも、就職をすれば、自分の専門分野
以外の複雑に絡み合う様々な問題や利害関係、法律や環境、海運、海底資源
など様々な知識をもとに、業務を行うことになります。また、直接海に関わ
らない仕事でも、行政や教育、資源、流通、商社など、多くの就職先で海と
出会うことも想定されます。

本副専攻プログラムでは、文理融合型教育を実施し、俯瞰的に問題を分析で
きる、社会で即戦力となる様な人材育成を行っています。

【副専攻プログラム履修のメリット】

- ・副専攻プログラム**修了証**を授与
就職活動のアピールポイントに！
- ・独自の**海外派遣（短期留学）プログラム**を実施中
- ・本センターオリジナルの**体験科目**を履修できます
水圏環境リテラシー（シーカヤック体験）、臨海実習、
海洋・海事フィールドワーク（海外研究機関等の見学）

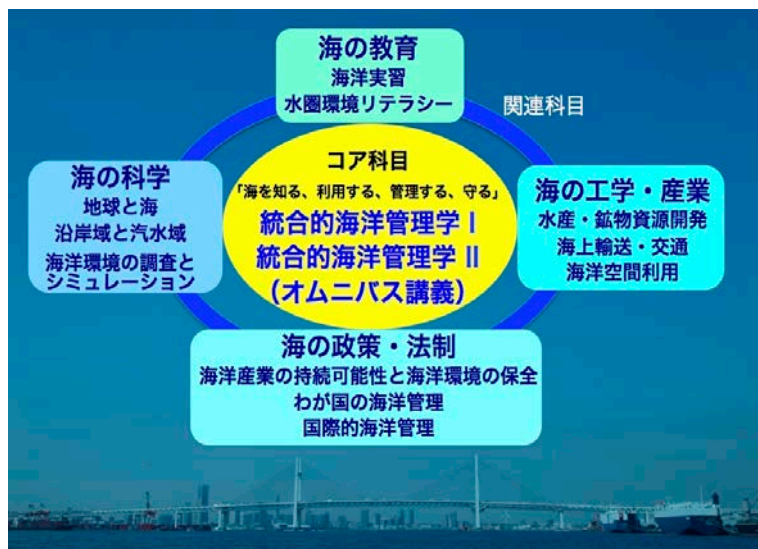
【統合的海洋管理学副専攻プログラムオリエンテーション】

日時：4月7日（月） 12時15分～12時45分

会場：大学院工学研究棟（S7-1）702号室

授業は当日の4時限から同じ教室でスタート！

「統合的海洋管理学」副専攻プログラムの概要



コア科目（計4単位）と関連科目6単位の取得でプログラムを修了

副専攻プログラム修了要件 下記10単位を取得

- ・プログラム特設科目（必修コア科目）：2科目4単位
海洋管理学Ⅰ・海洋管理学Ⅱ
- ・プログラム関連科目：3科目6単位以上
指定科目から選択

※「海洋管理学Ⅰ・Ⅱ」はビデオ講義を受講することで、出席扱いとします。（海センター事務室での視聴）
※関連科目は、各専攻の修士課程修了に必要な単位と重複できます。

対象者：修士・博士課程に所属する全学の大学院生
（文系・理系は問いません）

修了証：修了者には「主専攻」の「修士号」に加え、
「副専攻」の「修了証（Certificate）」を授与



【コア科目】統合的海洋管理学Ⅰ・Ⅱ ※どちらからでも履修できます。

＜春学期＞統合的海洋管理学Ⅱ

日程	講義回	講義タイトル	講師
4/7 (月)	0	オリエンテーション	12:15～12:45 大学院工学研究棟（S7-1） 702号室
4/7 (月)	1	海洋政策概論（2） 一 国連海洋法条約と200海里問題	横浜国大 統合的海洋教育・研究センター 客員教授 中原裕幸
4/14 (月)	2	海洋基本法を基盤とした 新たな海洋立国の実現	海洋政策研究財団 常務理事 寺島結士
4/21 (月)	3	海事活動の国際管理	国土交通省 海事局検査測度課 課長 園田敏彦
4/28 (月)	4	海事技術による安全性向上と 環境影響の低減	横浜国大 統合的海洋教育・研究センター 客員教授 吉田公一
5/12 (月)	5	海洋の安全保障	海上自衛隊 幹部学校教育部 八木直人
5/19 (月)	6	沿岸域における軟弱地盤対策	横浜国大 都市イノベーション研究院 准教授 早野公敏
5/26 (月)	7	沿岸域の減災と防災	横浜国大 都市イノベーション研究院 准教授 鈴木崇之
6/2 (月)	8	沿岸域の自然再生と総合的管理	海洋政策研究財団 海洋グループ 主任研究員 古川恵太
6/9 (月)	9	絶海孤島の海洋管理	横浜国大統合的海洋教育・研究センター 特任教員（教授） 宮本卓次郎
6/16 (月)	10	深海探査の現場と技術開発	海洋研究開発機構 海洋工学センター 海洋技術開発部 サブリーダー 宮崎剛
6/23 (月)	11	日本の海の管理制度	内閣官房 海洋政策本部事務局 内閣参事官 梅澤彰馬
6/30 (月)	12	沿岸域や海岸の利用と 環境保全との現状	横浜国大 環境情報研究院 准教授 村井基彦
7/7 (月)	13	漁村の社会と資源利用慣行	横浜国大 教育学研究科 准教授 池口明子
7/14 (月)	14	持続可能な水産業の姿	横浜国大 環境情報研究院 教授 松田裕之
7/23 (水)	15	試験（総合討論）	

＜秋学期＞統合的海洋管理学Ⅰ（参考 昨年度実施のもの）

講義回	講義タイトル	講師
1	海洋政策概論(1) 海洋基本法・基本計画等	横浜国大 統合的海洋教育・研究センター 客員教授 中原裕幸
2	海と地球の歴史	横浜国大 環境情報研究院 教授 岡嶋隆一
3	海の生命	横浜国大 環境情報研究院 教授 菊池知彦
4	海洋の物理	横浜国大 環境情報研究院 教授 伊藤公紀
5	海の環境保全制度	横浜国大 国際社会科学部 教授 加藤峰夫
6	海の化学	横浜国大 教育学研究科 准教授 津野宏
7	海洋観測の現状と今後 ～JAMSTECの気候変動研究の取り組みから～	（独）海洋研究開発機構（JAMSTEC） 海洋工学センター長期観測技術グループ 調査役 石原靖久
8	統合的海洋教育・研究センターシンポジウム	
9	解凍された海、北極海	横浜国大 統合的海洋教育・研究センター 客員教授 瀧澤隆俊
10	海底資源の利用と可能性	（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構 金属資源技術部 新海底調査課 課長 岡本信行
11	海上輸送の歴史と将来	（株）商船三井 営業調査室 主任研究員 吉本 亜土
12	造船技術の歴史と将来	横浜国大 工学研究院 教授 荒井誠
13	水産資源の利用と可能性	（独）水産総合研究センター 中央水産研究所 水産経済部漁業管理研究室 研究員 牧野光球
14	海を教える	東京大学 農学生命科学研究科 特任研究員 福島朋彦
15	港湾開発の歴史と将来	横浜国大統合的海洋教育・研究センター 特任教員（教授） 宮本卓次郎
16	第6期修了生によるポスターセッション	

【関連科目】各研究科・学府で開催している講義とセンターオリジナル科目が指定されています。

黄色の科目は統合的海洋教育・研究センター オリジナル科目 専門外学生の履修歓迎！

教育学研究科
無機化学演習
地質学演習

国際社会科学府
国際法研究Ⅰ
国際法研究Ⅱ
沿岸域管理の法制度
国際海運政策特論
海の環境法
海洋・海事フィールドワーク（海外研修）
海洋政策と法制特論
水圏環境リテラシー（シカヤック体験）

都市イノベーション学府
水圏防災論
水圏防災特論
地盤設計学
地盤設計特論
水圏環境論
水圏環境特論
都市基盤安全設計学
都市基盤安全設計特論

工学府
リスクベースによる規則制定手法
海洋設計システム論
海洋宇宙システム工学論
海洋産業特論
海事流体力学
数値海事流体力学
海洋エネルギー利用論

環境情報学府
海洋生物多様性学
立地群落学
海洋古環境学
浮体運動の数理モデル論
計算流体力学概論
生態リスクマネジメント理論
臨海実習
海洋生物環境学
生物海洋学